

概 要



「東京水道経営プラン2007」(平成19～21年度)

～次世代に向けた新たなステージの展開～

経営方針

東京水道は、都民生活と首都東京の都市活動を支えるライフラインとして、効率経営
また、将来を見据えた取組を進めるとともに、東京水道の伝統を次世代に引き継いで

施策の体系

将来にわたる安全でおいしい水の
安定的な供給

ニーズに応じた
お客さまサービスの積極的な展開

効率的で責任ある運営体制の
構築など経営基盤の強化

給水安定性の向上と経営の効率化
に向けた広域化の推進

次世代を見据えた
幅広い施策の推進

に努めながら、一層確かな安心・安定を実感できる水道サービスを提供していきます。

(主な施策)

安 定 給 水

安定した水源の確保、危機管理対策の一層の推進、大規模水道施設の更新に備えた取組

安全でおいしい水の供給

高度浄水処理の着実な導入、水質管理の徹底

蛇口回帰に向けた取組

貯水槽水道の適正管理及び直結給水化の普及・促進、公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業、水道キャラバン

お客さまの利便性の向上

お支払い方法の多様化（クレジットカード支払いの導入）

お客さまとの相互理解の推進

広聴機能の充実、地域に密着した取組の推進

水道施設のイメージアップ

施設の開放促進、給水拠点の周知等

水道局及び監理団体による
一体的事業運営体制の構築

一体的事業運営体制の構築、
監理団体に対する指導監督の強化等

多様な経営管理手法の活用

業務指標を活用した目標管理、外部の専門的意見の反映、
指定管理者制度（代行制）の導入、技術の継承

資産の有効活用等

柔軟かつ効果的な資産の利活用の推進

多摩地区水道の広域的経営

事務委託の着実な解消

近隣事業体との連携

都県域を越えた水の相互融通体制の強化、
共同防災訓練の実施

水道文化の継承

公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業（再掲）、
水道キャラバン（再掲）

地球環境の重視

多様な主体との連携による森づくり、環境施策の推進

国内外の水道界への貢献

水道局の技術・ノウハウの国内外に向けた発信

1 将来にわたる安全でおいしい水の安定的な供給

(1) 安定給水

① 安定した水源の確保

引き続き安定した水源の確保に努めます。



▲滝沢ダム

② 危機管理対策の一層の推進

● 原水連絡管の二重化

震災時や事故時でもバックアップできるよう、原水連絡管の二重化を図ります。

● 浄水場の耐震強化等

浄水場の耐震強化及び自家用発電設備の整備を進めます。

● 送配水管ネットワークの強化

効率的な水運用や非常時におけるバックアップ機能の強化を図ります。

● 経年管・初期ダクティル管の取替

耐震性の低い水道管の取替を着実に推進します。



▲経年管の取替

● 三次救急医療機関・首都中枢機関等への供給ルート の耐震強化

重要施設への供給ルートの耐震化に優先して取り組みます。

● 給水所等の新設・拡充

地域給水の拠点となる給水所等の整備を進めます。

● 大口径給水管の耐震強化

管路全体の耐震性を向上させるため、大口径給水管の耐震強化を推進します。

③ 大規模水道施設の更新に備えた取組

● アセットマネジメント手法の導入

適切な維持管理による施設の延命化を図るとともに、計画的な更新を実施し、更新時期の平準化と費用の最小化を図ります。

● 大規模浄水場更新積立金の創設

浄水場の集中更新に備え、代替施設の整備に向けた所要額の積立を行います。

(2) 安全でおいしい水の供給

① 高度浄水処理の着実な導入

利根川水系の全浄水場に高度浄水処理を順次導入していきます。

② 水質管理の徹底

● 残留塩素の低減化

カルキ臭の原因の一つとなる残留塩素の低減化に向けた総合的な施策を推進します。

● 水安全計画に基づく水質管理

新たな管理手法を導入し、水質管理をより一層徹底します。



▲高度浄水施設（オゾン接触池）

(3) 蛇口回帰に向けた取組

蛇口回帰に向けた「安全でおいしい水プロジェクト」の推進

より多くのお客さまに蛇口から直接水を飲んでいただくことをめざして、「安全でおいしい水プロジェクト」を一層効果的に推進していきます。

① 貯水槽水道の適正管理及び直結給水化の普及・促進

貯水槽水道の点検調査や直結給水方式への切替に関するアドバイス等を行います。

② 公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業

公立小学校400校を対象として、水飲栓の直結給水化モデル事業を推進します。

③ 水道キャラバン

次世代を担う小学生の水道に対する理解を深めるため、キャラバン隊による訪問授業を実施します。



▲水道キャラバン隊の授業風景

主な効果

- ・ 渇水時や震災時等における給水安定性が向上します。
- ・ 蛇口から出る水道水のおいしさを実感できるようになります。

2 ニーズに応じたお客さまサービスの積極的な展開

(1) お客さまの利便性の向上

料金のお支払い方法にクレジットカード支払いを導入します。



(2) お客さまとの相互理解の推進

① 広聴機能の充実

広聴機能を充実し、お客さまの声を局事業に一層反映させていきます。

② 地域に密着した取組の推進

「地域水道ニュース」の発行などをはじめ、地域に密着した様々な取組を推進します。



▲「地域水道ニュース」の例

(3) 水道施設のイメージアップ

施設の開放、構内の緑化など水道施設のイメージアップに努めるとともに、浄水場や給水所等が震災時の給水拠点となることをお伝えするため、案内標識をよりわかりやすいものにしていきます。



▲施設見学会の様子(朝霞浄水場)

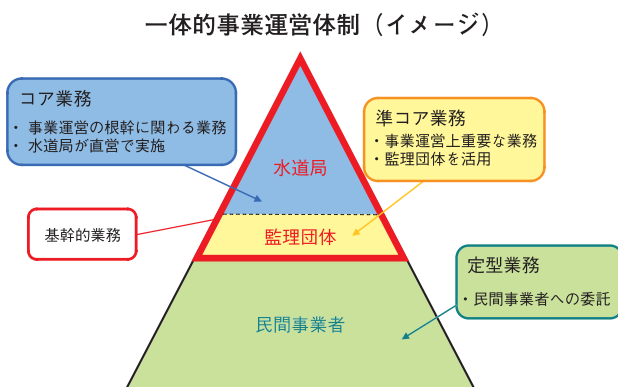
主な効果

- お支払い方法が多様化することにより、お客さまの利便性が向上します。
- 水道事業への理解を一層深めていただくとともに、水道をより身近に感じていただけます。

3 効率的で責任ある運営体制の構築など経営基盤の強化

(1) 水道局及び監理団体による一体的事業運営体制の構築

民間に委ねられる業務は可能な限り民間事業者へ委託していくとともに、水道局と水道局が所管する東京都監理団体が新たな一体的事業運営体制を構築していきます。



(2) 多様な経営管理手法の活用

① 業務指標を活用した目標管理

水道事業ガイドラインなどを活用し、目標管理を徹底するとともに、その達成状況を公表していきます。

② 外部の専門的意見の反映

外部委員会を活用して、より専門的な意見を求め経営に反映させていきます。

③ 指定管理者制度（代行制）の導入

PR施設の運営について指定管理者制度（代行制）を導入します。

④ 技術の継承

水道局版ナレッジマネジメントシステムの構築やマイスターの認定制度の導入などにより、技術の継承を進めます。



▲東京都水の科学館

(3) 資産の有効活用等

土地・建物の情報を一元的に管理する資産バンクシステムを活用し、資産の価値を最大限発揮させる利活用を推進します。

主な効果

- ・ 公共性と効率性を両立させた責任ある経営が可能となります。
- ・ 外部の専門的意見を経営に反映させることができ、公共性の発揮や一層の経営効率化を図ることができます。
- ・ よりわかりやすく魅力的な展示内容とするなど、PR施設の更なる充実を図ることができるとともに、一層効率的な管理運営が可能となります。

4

給水安定性の向上と経営の効率化に向けた広域化の推進

(1) 多摩地区水道の広域的経営

各市町への事務委託を着実に解消し、市町域にとらわれない広域的経営を行います。

(2) 近隣事業体との連携

都県域を越えた水の相互融通を行う体制を強化するとともに、共同の防災訓練を実施するなど、近隣事業体との連携を深めます。

主な効果

- ・多摩地区におけるお客さまサービスや給水安定性が一層向上するとともに、事業運営の更なる効率化を図ることができます。
- ・震災時や大規模な水源水質事故時等において迅速な対応が可能となります。

5

次世代を見据えた幅広い施策の推進

(1) 水道文化の継承

蛇口から直接水を飲むという日本が誇る水道文化を次世代に継承するための取組を進めます。

- ① 公立小学校の水飲栓直結給水化モデル事業（再掲）
- ② 水道キャラバン（再掲）

(2) 地球環境の重視

① 多様な主体との連携による森づくり

多摩川水源森林隊の着実な運営とともに、ボランティアやNPO等との連携・協働を一層推進していきます。

② 環境施策の推進

「東京都水道局環境計画」に基づき、実効性のある環境施策を実施します。



▲水道水源林

(3) 国内外の水道界への貢献

世界有数の水道事業体として、技術・ノウハウを積極的に国内外へ発信します。

主な効果

- ・次世代を担う小学生が水道に対する理解を深めるとともに、水道文化を感じとることができます。
- ・環境負荷の低減を図ることができます。
- ・水道技術・ノウハウの発信により、幅広く水道界へ貢献することができます。

財政収支計画・経営努力・施設整備主要事業計画

必要な事業を行ったうえで、3年間で220億円の経営努力を行い、現行の料金水準を維持します。

● 財政収支計画

(単位：百万円)

年 度	収 入						支 出					収 支 過不足額	累積収支 過不足額 (18年度末 見込 1,532)
	料 金	起 債	国 庫 補助金	一般会計 繰入金	そ の 他	計	営業費用	支払利息	元 金 償 還金	建 設 改 良 費	計		
19	320,307	22,584	6,662	4,633	40,309	394,495	210,438	17,425	66,282 (△ 3,900)	99,918 (5,000)	394,063	432	1,964
20	321,327	12,644	6,560	4,797	40,187	385,515	216,726	16,072	53,353	100,856 (5,000)	387,007	△ 1,492	472
21	323,078	12,154	5,171	4,888	42,854	388,145	218,502	14,903	54,507	100,705 (5,000)	388,617	△ 472	0
計	964,712	47,382	18,393	14,318	123,350	1,168,155	645,666	48,400	174,142 (△ 3,900)	301,479 (15,000)	1,169,687	△ 1,532	

注1 起債及び元金償還金は、借換分を除いたものである。

2 元金償還金は、民間債の満期一括償還制度導入に伴う平準化をした後の額である（カッコ内は内書き）。

3 建設改良費は、大規模浄水場更新積立金を含めた額である（カッコ内は内書き）。

● 経営努力

(単位：百万円)

事 項	1 9 年 度	2 0 年 度	2 1 年 度	計
事業運営体制の抜本的な見直し (職員定数の削減)	2,602 (250人)	3,817 (150人)	6,280 (250人)	12,699 (650人)
既定経費の節減	981	1,428	1,947	4,356
資産の有効活用等	1,971	479	2,495	4,945
計	5,554	5,724	10,722	22,000

● 施設整備主要事業計画

(単位：百万円)

事 業 名		事 業 費	年度別計画額		
			19年度	20年度	21年度
水 源 及 び 浄 水 施 設 整 備 事 業		96,000	32,000	32,000	32,000
送 配 水 施 設 整 備 事 業		157,000	52,000	52,000	53,000
給 水 設 備 整 備 事 業		17,000	6,000	6,000	5,000
計		270,000	90,000	90,000	90,000
財 源	企 業 債	47,382	22,584	12,644	12,154
	国 庫 補 助 金	18,393	6,662	6,560	5,171
	一 般 会 計 繰 入 金	6,902	2,234	2,334	2,334
	そ の 他	197,323	58,520	68,462	70,341